



園だより

令和4年7月
段原みみょう保育園

先月の運動会、プログラム数を縮小したものの、暑い中、保護者の方にたくさんご参加いただき、実施することができました。子どもたちは、おうちの人に見ていただくことが嬉しくてたまらない様子で、とてもいきいきとし、保護者の方も、優しい笑顔で応援してくださり、誰もが心温まる、素晴らしい運動会となりました。本当にありがとうございました。

今後も、夏まつり、みみょうフェスティバル、生活発表会などがありますが、私たち保育者は、行事を特別なものとして捉えず、日頃のあそびで子どもたちが何を楽しみ、その中で何が育っているかを大切にし、決して「〇〇ができる。」という結果や出来栄を問うのではなく、子どもたち自身が意欲的に考え、行動し、心を弾ませながら楽しんできたあそびを披露する場にしたいと考えています。内容が行事によって、ものづくりであったり、身体での表現が中心になったりなどしますが、毎日のあそびがどのように展開していくのかを、保護者の方も一緒にわくわく感じながら見守り、楽しみにしていただければと思います。

日々のあそびを大切に…とことんやってみよう!

さて、幼児クラスは、朝夕の登降園場所が5階の保育室となっています。そこには、5～6か所のあそびのコーナーがあり、各々が好きな所で遊びます。その中の一つ、「ものづくり」のコーナーでは、一人で集中する子もいれば、グループになって大きなものを作る子たちもいます。グループは異年齢であることも多く、年少児は、年中・年長児がすることをじーっと見たり、時には年長児から教えてもらいながら、簡単な役割を担当しています。年長児は、自分たちで「〇〇をつけたらカッコよくなりそう!」「△△を付けばうまくいくんじゃない?」などと、どんどん考え、アイデアを出し、進めています。時には、意見が合わなかったり、他の人の同意なく、勝手にやって、もめたりすることもあります。しかし、「つくりたいもの、やりたいこと(目的)」がはっきりとあり、それに向かって進んでいく姿を見ていると保育者も胸が熱くなってきます。そして、楽しいことを納得いくまでする中で、考える力、やってみようとする意欲、上手くいなくても粘り強く頑張ろうとする思い、人と協力をする力、上手くいっただけの喜び、満足感等々…言葉では言い表せないくらいの様ざまな力の育ち、大きな感動もあるんだと改めて気づかされ、人としての土台が育ってきていると感じています。

さて、今月28・29日、年長組さんは、北広島町にてお泊り保育を行います。お泊り保育は、これまで身につけてきた生活面のこと(例えば、食事に関すること、排泄、着替え、物の管理など)が、お家の人がいない所でも、「自分でできる!」と自身の力を再確認し、さらなる自信をつける機会になることと思います。また、友だちと一緒に、初めての環境で長時間過ごす中で、自分で考えて行動し、また集団を意識しながら、互いに協力しあう姿が見られるのではないかと期待しています。来月は、年長組さんのお泊り保育での成長ぶりをお伝えできたらと思っています。

園長

つながりの輪をひろげよう!

毎週火・木曜日の園開放では、未就園児さんが親子で来ていただき、お子さんを遊ばせながら、お母さん方にも楽しいふれあいのひと時を味わっていただいています。また、夕方の短い時間ではありますが、保護者の方同士で挨拶を交わされたり、話をされたりなど温かい輪が広がっているなど感じます。大人同士のつながりは、お子さんの成長により影響を与えます。本園は「高齢者いきいき活動ポイント事業」の対象施設にもなっています。おじいちゃん、おばあちゃんにもお時間がとれる時には園にお越しいただき、積極的につながりの輪を広げていただけたらと思います。